

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例集

山梨県教育委員会 高校教育課

- ◆P 2～P 11 国語科
- ◆P 12～P 13 地理歴史科
- ◆P 14～P 15 公民科
- ◆P 16 数学科
- ◆P 17～P 18 保健体育科
- ◆P 19～P 20 芸術科
- ◆P 21～P 23 外国語科
- ◆P 24～P 26 家庭科
- ◆P 27～P 29

総合的な学習の時間

- ◆P 30～P 32

その他（学校設定教科等）



## 国語

- 上野原高校(国語総合)
- 韮崎高校(国語表現)
- 甲府昭和高校(国語表現)
- 農林高校(国語表現)
- 日川高校(国語表現)
- 都留高校(国語表現)
- ひばりが丘高校(国語表現)
- 山梨英和高校(国語表現)
- 甲府東高校(現代文B)【2事例】
- 増穂商業高校(現代文B)
- 市川高校(現代文B)
- 塩山高校(現代文B)【2事例】
- 都留興譲館高校(現代文B)
- 甲府東高校(古典B)
- 甲府南高校(学校設定科目)
- 上野原高校(学校設定科目)

### 上野原高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年:国語「国語総合」1学年
- 単元名:短歌と俳句「その子二十」
- 学習目標:
  - ・近代短歌・俳句に親しみ、表現形式や技法を理解し、鑑賞方法を学ぶ。
  - ・短歌・俳句の短詩形の中に詠み込まれた情景や心情を読み取り、共感を持ちながら積極的に理解しようとする。
- 授業内容:2種類のグループを作り、基本の班の中で自分が調べる歌人をそれぞれ決め、歌人ごとに調べ班を作って調べ学習を行う。(司書と相談し、歌人についての資料を集めておく)調べ学習の後基本班に戻り、自分が調べてきたことを班員に報告しながら、全歌人についての学習を行う。(相互に教え合う形式で行う)。移動文学館を利用して、石川啄木について学ぶ。

#### 成果・効果

- ・単に調べ学習を行うだけでなく、調べたことを基本班に戻って発表し合い、プリントを完成させなければならぬので、**深い理解が必要となり、しっかりと調べ学習を行うことができた。**
- ・図書館の大きな机で班ごとにまとめて資料を広げることができ、他の生徒の調べてきたことを聞きながらプリントを作成する際、スペースがとれ、お互いの顔が見えるので、**和気藹々と授業を行うことができた。**
- ・**移動文学館を利用**することで、楽しく学べた。



#### 課題

調べ学習、相互の伝え合いをしっかりとやると時間がとてもかかる。生徒たちが慣れていないので、方法をどう教えるか。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 韭崎高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語表現」3学年
- 単元名：表現力を培う「ビブリオバトル」
- 学習目標：
  - ・自分が選定した本の「アピールポイント」を効果的に伝える。
  - ・発表者の考えを尊重しながら、質問や議論を通じてよりよい結論を導き出す。
- 授業内容：発表者は聞き手が読みたくなるような発表の内容や方法を工夫したり、聞き手は発表者への質問やグループ討議を通して話題を引き出したりして、コミュニケーションの楽しさを味わい、話すこと・聞くことに対する抵抗感を減らすとともに、場に応じて効果的に話す力や聞く力を養う。

### 成果・効果

- ・図書室で活動を行ったことにより、図書室に並ぶ様々なジャンルの本を、生徒達が**自然と何冊も手に取る様子が見られ、多くの本に触れる良い機会**となった。
- ・教室とは異なる空間での活動は、発表者にとっては改まった場となり、**発表に対する意識を高める**ことができた。一方、議論を行う際には一つの机を囲む中で一体感が増し、**意見を述べやすい場**となった。

### 課題

- ・議論が活発になることで、話し合ったグループの意見が一つにまとまってしまいう傾向が多少見られた。



## 甲府昭和高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語科「国語表現」3学年文系
- 単元名：ビブリオバトル(知的書評合戦)
- 学習目標：
  - ・主体的・広域的に読書活動に取り組む生徒の育成を目指す。
  - ・聞き手を引き付けながら発表するプレゼン能力の育成を目指す。
- 授業内容：全員がお勧めしたい本を手にしなが、本の魅力を一人5分以内で発表する。(ビブリオバトル公式ルールに則って行った。)発表後は、一番読みたくなった本に投票を行う。

### 成果・効果

- ・図書室の環境の中で、**読書会のような雰囲気**の中で行うことができた。
- ・図書室のキャパシティが広いため、他の科目の受講生徒を招待して、授業よりも多くの聞き手を前に発表することで、生徒は**効果的な発表に必要な工夫について考える**ことができた。
- ・公式ルールに則った参加者共有の型をもったプレゼンとして**取り組みやすく**、本物のビブリオバトルの疑似体験をすることで、ビブリオバトルへの**興味関心を高められた**。



### 課題

- ・教師の評価を、どのタイミングでどのように行ったら良いのかが難しい。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 農林高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語表現」3学年
- 単元名：さまざまな資料について知ろう
- 学習目標：
  - ・インターネットや、それ以外の資料について、それぞれの特性を知る。
  - ・自分の調べたい事柄に適した資料を選ぶことができる。
- 授業内容：  
紙メディアと電子メディアの違いや利点、また、様々な紙メディアの特性について、ワークシートを使用して考え、図書館内の資料から、百科事典や参考書、新聞や雑誌などの実物に触れることによって、資料の選び方を考える。

### 成果・効果

- ・それぞれの資料の特性を知ることによって、**目的に合った資料を使おうという意識**が生まれた。
- ・電子メディアを使う際に注意すべきことについて**話し合い、考える**ことができた。
- ・**図書室の資料を各自が実際に手に取る**ことができたことで、資料の違いについて、主体的に考えることができた。



### 課題

- ・気づき、考えるきっかけにはなったが、考えを十分深めるには時間が足りなかった。
- ・生徒相互の、また、教員による評価が難しい。

## 日川高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語表現」3学年
- 単元名：効果的に伝える「好きな本を紹介しよう」
- 学習目標：
  - ・紹介文の書き方や書く時の留意点について理解し、紹介文の構成や表現を工夫する。
  - ・発表の際は本の良さが伝わるよう、聞き手を意識して表現方法に工夫をする。
- 授業内容：  
「紹介する」という行為の意図を理解し、相手意識を持って伝えたい情報をわかりやすく整理し、より効果的に伝えられるよう表現を工夫しながら原稿を作成する。また、発表して相互評価することで話す力・聞く力を養う。

### 成果・効果

- ・本選び、原稿作成の段階から図書館で授業を行うことで、図書館に行く機会、**本に触れる機会を増やすことができた。**
- ・友人の発表を聞いて、読んでみたくなった本や興味を持った作家の本などを**すぐに手に取って読むことができる。**
- ・大机でまとまって座ることで生徒間の距離が近くなり、教師への質問もしやすくなる。発表も**温かい雰囲気の中で行えるため意見交換が活発になる。**



### 課題

- ・発表の相互評価の際には話し方や声の大きさだけの評価にならないように原稿を配布しておき、紹介文の構成や言葉の用い方に注目させるのがよい。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 都留高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語表現A」3学年
- 単元名：新書を読んで紹介しよう
- 学習目標：
  - ・興味関心のある分野について、多様な知識や価値観を知る。
  - ・新書の魅力を適切な言葉で伝え、互いに評価する。
- 授業内容：
  - 1) 新書を選び、読破した上で伝えたい事柄を書き出す。
  - 2) どのような言葉で、どのように伝えれば、聞き手に伝わりやすいかを工夫して、紹介文を書く。
  - 3) 互いの発表を評価し合うことで話す力・聞く力を養う。

### 成果・効果

・互いの発表を評価し合うことで、**生徒相互の学び合いが達成**されるとともに、様々な分野への理解が進み、**社会を多角的に捉えようとする視点に気づくことができた。**

・身近に図書がある環境の中で活動することによって、**本を手に入る機会が増え、読書のきっかけ作りとなった。**

・さらに、司書による「**図書館通信**」の発行によって、**学校全体の貸出冊数、及び読書量が飛躍的に高まった。**



### 課題

- ・本が身近にある環境を体験するという点で、**1、2年生のうちに複数の教科で図書館利用の授業を増やすことが望ましい。**
- ・活動による資質や能力の評価方法を工夫する必要がある。

## ひばりが丘高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語表現」3・4学年
- 単元名：自己PRと面接「効果的な自己PR」
- 学習目標：
  - ・面接を前提として、職種に合った内容や対応ができるように、様々な職種について調べるとともに、自分の長所や特性について理解し、効果的な自己PRができるようにする。
  - ・自分の長所を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。
- 授業内容：
  - ・自分の適性や興味の対象、さらに世の中に存在する職種についての知識を身に付け、面接に対応する力を養うには、まず生徒が自分自身を知り、職業を理解する必要がある。そのために、図書館での調べ学習や、インターネットを使って職業に対する理解を深め、働くことの意味を考える機会とする。

### 成果・効果

・進路指導部での指導と併せて、国語表現の授業として生徒が実生活の様々な場面において求められる「話すこと・聞くこと」に関する力を伸ばす単元を設定している。その流れの中で、例えば面接試験等で必要になる、相手の質問を正確に聞き取ったり、自分の考えを的確に話したりする力を養うことが出来ている。

・国語表現の授業では、様々な職種に関する知識を得るために、図書館学習を行っている。書籍だけでなくインターネットからの情報も交えて、興味を持てる職業を探す中で、**自分の将来を考える機会になっている。**

### 課題

- ・生徒に、自己有用感を持たせて、積極的に取り組ませることが難しい。
- ・図書館の蔵書の内容について、授業に使えるものを増やすとともに、まず、生徒が足を運びやすい図書館の環境づくりを考える必要がある。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 山梨英和高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語表現Ⅱ」3学年
- 単元名：課題文型小論文
- 学習目標：
  - ・課題文を読んで正確に要約できる力を身に付ける。
  - ・筆者の主張を正しくつかみ、それについて自分なりの意見を持つ。
  - ・正しく明快な文章が書けているか推敲する。
- 授業内容：

まず、新聞を読み気になった記事を切り抜く。記事を読んだ感想や意見をまとめる。まとめた文章を班の中でお互いに読み合う。班の中でトップ記事を決め、最終的には壁新聞を作成してプレゼンする。読む力・書く力、そして考える力を養う。

### 成果・効果

- ・新聞記事を読んで、自分なりの**明確な意見を持ち、それを文章にまとめることができた。**
- ・社会が抱える様々な問題点について理解し、それを**自己の問題として捉えることができた。**
- ・図書館の新聞を使用したため、**スムーズに授業をすすめられた。**



### 課題

- ・新聞を定期購読している家庭が少なくなっているため、生徒が新聞に触れる機会が少なくなっている。
- ・新聞切り抜きから最後のプレゼンまで図書館で授業を行いたい。

## 甲府東高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「現代文B」2学年
- 単元名：表現
- 学習目標：
  - ・主体的に情報を発信する。
  - ・場面や相手に応じた文章表現の在り方を考える。
- 授業内容：
  1. クラス内でペアを組む。
  2. 相手の趣味や読書歴などをインタビューした上で、相手が好みそうな本（自分が読んだことのある本）を探す。
  3. 本の内容を要約しワークシートに記入、コメントをつけて相手に紹介する。相手や本の内容に応じた文章を工夫する。
  4. ペアの相手は、紹介された本を読み、ワークシートに感想を記入して返す。

### 成果・効果

- ・インタビューをしたことで、**相手に応じた本を探す楽しみが生まれ、授業時間いっぱい図書館で本を探したり、主体的に文章を書いたりしていた。**



### 課題

- ・要約しすぎると読む楽しみを失わせてしまうので、ポップのような形で紹介した方が、表現の工夫にも繋がり、図書館にも飾ることができるため、もっと良かった。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 甲府東高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「現代文B」3学年
- 単元名：評論 現代日本の開化（夏目漱石）
- 学習目標：
  - ・江戸時代から明治の近代国家への移行において、日本社会はどのような変遷をたどったか、そして、漱石の生きた時代と今現在の日本を比較して、西洋の開化がどのような影響を及ぼしているかを考える。
- 授業内容：

文章の深い内容理解のために「文明開化」がどんなもの（こと）をもたらしたか、それまでの日本やヨーロッパの国々の開化がどのようにおこなわれてきたかなどを、班で担当し、図書館の蔵書で調べてまとめる。

### 成果・効果

・教科書の文章だけでは理解がしにくい、あるいはイメージしにくいことが、具体的な事象を見る（知る）ことによって、よりしっかりと捉えられたと思われる。

・調べるためには、班で協力して資料にあたることはもちろん、**教科書の内容についても意見をかわしつつ理解を深める必要があるため、受け身ではない姿勢になった。**



### 課題

- ・単発的な（図書館）利用になってしまった。
- ・他の班への質問からさらに理解を深めるような展開にするとところまでできなかった。

## 増穂商業高等学校

### 取組の内容

- 教科・学年：国語「現代文B」2学年
- 単元名：名作を読む「こころ」 夏目 漱石
- 学習目標：
  - ・作品の中に出てくる地名を確認し、どのような場所であったのか、具体的にイメージする。
  - ・作品の中に出てくる場所には、物語にとってどのような意味があったのか、具体的にイメージする。
- 授業内容：竜岡町、池の端、上野、小石川、本郷台、水道橋、猿楽町、神保町、万世橋といった場所に関係する図書資料を図書館内で探させ、地名に関わる語彙力を養うために、どのような場所であったのかを調べる。また、房州と三区（文京区と千代田区の一部）が、物語の中において、対比的に扱われていることを歴史的な資料等で理解する。

### 成果・効果

・明治後半の都内の地図や写真を見ることで、当時の上野、万世橋、本郷、水道橋といった所が、第一期山の手であったことを深く理解できた。また、日本橋、木原店、両国といった下町との位置関係や地形の違いを、図書資料によって比較することで、**物語における地名の効果を、理解することができた。**特に、下町と郊外の関係性や従来なかった郊外という概念の持つ意味を、歴史的な資料をみることで深く理解することができた。

### 課題

- ・授業時における資料の内容等についての説明に時間がかかりすぎ、教師の一方的な授業になってしまった所があった。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 市川高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「現代文B」2学年
- 単元名：言語活動・本を紹介しよう
- 学習目標：
  - ・他の人にその本を読んでもらいたいという自分の意思をわかりやすく伝える。
  - ・他の人にその本を読んでもみようという気にさせる書き方を考える。
- 授業内容：

自分が今までに読んだ本の中から人に紹介したい本を選び、紹介文を書いたり、コピーをつけたり、発表したりすることで、自分の感動を確認するとともに、伝えたいことを人に伝えるための力（書く力・話す力）を養う。

### 成果・効果

- ・なぜその本を取り上げたのか、その本で何を伝えたいのか、を考えることが、**自分自身を見つめることにつながった。**
- ・紹介文を書く際の他者のアドバイスを、他者の発表から得た知見を取り入れて、**紹介文・発表をよりよいものとする**ことができた。
- ・図書館にある様々な本を手に取りながら、他者と自然と言葉を交わし、楽しく活動できた。



### 課題

- ・相互評価の中で、紹介の**内容を客観的に評価させることが難しい。**

## 塩山高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「現代文B」2学年
- 単元名：『こころ』 夏目漱石
- 学習目標：
  - ・夏目漱石の作品に興味を持ち、作品のおもしろさをお互いに伝え合おうとする。
  - ・夏目漱石を通じて近現代の作家にも興味を持ち、より深く学ぶ。
- 授業内容：
  - ・漱石の作品について、書籍を使いながら説明し、話のポイントやおもしろさを考え、互いに発表し合う。
  - ・文庫だけでなく、現代にアレンジされた作家の姿も見せながら他の作家への興味を喚起する。

### 成果・効果

- ・教室でも出来る作業であるのだが、図書館にいるということで、すぐに違う本や生徒から出た本の紹介がしやすく、**生徒の興味や関心が高まる環境**であった。
- ・すぐに話し合いや発表に移りやすい環境であるので、**生徒も自然と取り組んでいた。**



### 課題

- ・生徒がどこまで興味を持ってもらえたか、感想等を書かせてわかりやすいものにしておくべきであった。
- ・教員の指示や説明が多い授業であったので、生徒が主体的に動けるような工夫が必要である。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 塩山高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「現代文B」3学年
- 単元名：小説を楽しむ
- 学習目標：
  - ・制限時間の中で表現を工夫し、自分の選んだ本の面白さを的確に伝える。
  - ・本や読書に対する興味関心を持ち、積極的に調べたり、発表を工夫したりする。
- 授業内容：
  - ・自分の選んだ本の面白さを的確に伝えるため、表現や話し方を工夫し、話す力を養う。
  - ・自分なりの基準をもちチャンプ本を選ぶことで、聞く力を養う。

### 成果・効果

- ・本に囲まれた空間で行うことで、本や読書への関心が引き出しやすく、発表にも集中できた。
- ・図書館の大机を囲んで発表を聞き合うことで、質問も出しやすい雰囲気を作られた。
- ・発表原稿を作る段階では、他の資料がすぐに見られ、パソコンも利用できる環境で準備を進めやすかった。
- ・発表後に「読んでみたい本」をすぐに手に取れるので、読書意欲を喚起しやすい。



### 課題

- ・準備に時間がかかるため、授業時間のやりくりが難しい。
- ・本のインパクトで判断してしまう場合もあるので、発表の面白さや工夫で判断する「ルール」の徹底が必要である。

## 都留興譲館高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「現代文B」3学年
- 単元名：詩に興味を持つ
- 学習目標：図書館で予め指定しておいたコーナーから気に入った詩の本を一冊探し、詩集について調べたり詩に関心を持ったりすることができる。
- 授業内容：
  - 自分が紹介したい詩集を一冊選び、その著作または作者をパソコンで調べる。その後、詩集から一つ詩を読んで、作者または詩集についてコメントを付ける。オーディエンスとなった生徒は、聞いた詩の感想を一文で表現する。

### 成果・効果

- ・詩の世界の奥深さを感じるとともに、詩のリズムを理解して教科書の詩の教材の理解を深めることができた。
- ・本校図書館は、生徒用パソコンが9台あるので、調査自体は順調に進んだ。



### 課題

- ・日常的に詩に触れている者と、そうでない者との差が大きい。継続的な指導の必要性を感じた。
- ・2時間かけたが1時間に短縮したい。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 甲府東高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「古典B」2学年
- 単元名：「平家物語 忠度の都落ち」
- 学習目標：
  - ・古典を読んで、人間・社会・自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。
- 授業内容：
  - A「平家物語」について
  - B「源平の争い」について
  - C当時の人々と和歌との関わりについて
  - D平忠度と藤原俊成についてについて各班で調べ、その内容や考えたことをポスターにして発表しよう

### 成果・効果

- ・各班で図書館を活用し、調べた内容を共有できて教科書の本文もより深く理解できた。
- ・単元の学習目標の達成にも役立った。



### 課題

- ・テーマによっては調べにくいものもあり、生徒は苦労していた。

## 甲府南高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「国語探究」3学年
- 単元名：現代文 古文 問題演習
- 学習目標：
  - ・近現代の評論、古典の随筆などを読み、本文を精緻に捉え、自分の考えを他者に伝えることができる。
  - ・解答内容について積極的な議論ができる。
  - ・他者の発表から、多様なアプローチや考え方を知る。
- 授業内容：（実施時数12時間）
  - ・授業内で問題を解き、全員で解答の検討をする。

### 成果・効果

- ・図書館の机が大きいので、生徒同士が向き合う授業形態になりやすく、活発に議論できた。
- ・ペアワークをおこない、A3サイズのホワイトボードに二人で話し合った解答を記し、受講者全員で検討する。ホワイトボードに書くことで自分の考えを示すことに抵抗がなくなった。
- ・図書館の蔵書から関連する内容の評論や古典作品を探し参考にすることができた。
- ・自分と違うアプローチで到達した解答を検討することで、文章読解の方法に自覚的になった。



### 課題

- ・受講者が多くなった場合に、全ての解答を検討できないことがあると考えられる。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 上野原高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：国語「応用表現」3学年
- 単元名：メディア・リテラシー「新聞記事を読み比べる」
- 学習目標：
  - ・新聞記事を読み比べ、内容や表現の相違点を指摘するなどの活動を通して、分析的に読めるようにする。
  - ・複数の新聞を読み比べることの面白さに気づかせ、新聞を読もうという意欲が高まるようにする。
- 授業内容：2人一組で同日付の複数の記事を読み比べ、分量や写真や表の有無、見出し文字等の体裁面や、書いてある「事実」の相違、視点等の内容面を、ワークシートにまとめさせる。事後、小グループ内及びクラス全体で発表し合い学習成果のシェアを行った。

### 成果・効果

- ・新聞に対する親近感が増し実際に新聞を読むようになった生徒が増えた。
- ・情報を見極める力や意識が生徒達に醸成された。
- ・広いスペースで新聞を広げることができ小グループでの話し合いがしやすかった。



### 課題

- ・新聞の扱いに慣れていないため、作業に時間がかかる。
- ・授業後の発展的な展開を仕組んでおく必要がある。

## 地理歴史

- 吉田高校(日本史B)
- 山梨高校(地理B)
- 身延高校(学校設定科目)

### 吉田高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年: 地歴科「日本史B」2学年
- 単元名: 現代の日本と世界 歴史の論述
- 学習目標:
  - ・他者と協働しながら、学習課題に取り組む。
  - ・日本の歴史・文化について、世界との関わりの中から考察する。
- 授業内容: コロラド・スプリングス市から来校した生徒とともに、映画「もののけ姫」(英語版)の一部(スクリーンを兼ねたホワイトボードに投影)を鑑賞し、与えられたテーマについてグループで討議をし、発表する。テーマは「猪はなぜ神になったのか」「アメリカには動物が神となる事例はあるのか」「神は、なぜ人間にわざわざ(たたり)をもたらすのか」など。  
(ねらい) 外国の生徒とコミュニケーションをとりながら、日米の宗教・文化について、共通点・相違点を見いだす。

#### 成果・効果

- ・図書館の広いスペースおよび大きな机はグループ学習に適している。
- ・文献やインターネットで情報を容易に得ることができる。
- ・視聴覚教材を組み合わせることで、より多彩な授業が展開できる。



#### 課題

- ・探究的な学習活動を展開していく中で、インターネットやスマートフォンの検索だけでなく、文献などから適切な情報を得ることについて指導していかなければならない。
- ・事前にテーマに基づいた文献を用意しておく必要がある。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 山梨高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：地歴科「地理B」3学年
- 単元名：現代世界の諸地域
- 学習目標：
  - ・興味や関心を持って調べることで主体的に学ぶ力を育てる。
  - ・世界の諸地域(国)を総合的に理解する。
- 授業内容：
  - ・自分の訪れてみたい国、関心を持っている国を1つ選び、その国についてB4の国別レポートを作成する。資料は原則図書館にある書籍とし、内容には国勢と紹介したいトピックを必ず入れる。後日、それぞれ発表する。
  - ・1つの国を総合的に調べることで、2年間の学習の集大成とする。

### 成果・効果

- ・同じ国についての資料でも、**視点の置き方により異なった解釈があることを知ることができた。**
- ・トピックの内容から、教師も生徒も、**互いの興味や関心が多岐にわたることを知った。**



### 課題

- ・食文化などの平易なテーマで満足してしまう生徒が目立った。日本との関係や世界的な視点でテーマを設定する生徒は少なかった。

## 身延高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：地歴科「世界史研究」3学年
- 単元名：山梨における世界史
- 学習目標：
  - ・山梨という地域と世界史とのつながりを、テーマを設定して探求していく。
  - ・最後に学習の成果をポスターにまとめる
- 授業内容：
  - テーマを設定し、図書室の資料、実地調査、インターネット情報を使い探求する(H29年度3年生の設定したテーマは「キリスト教」と「ワイン」)。
  - 学習の過程において資料の収集、世界の中で地域を見る力、歴史的思考力、表現力、共同して取り組む力の向上などを企図している。

### 成果・効果

- ・**探求する面白さ**を生徒たちが感じていた。
- ・様々な歴史的資料の存在やその探し方を知った。
- ・「テーマ設定」→「調査」→「まとめ」の基本的手法を学んだ。
- ・世界史的な見方、歴史的思考力の育成を図ることができた。



### 課題

- ・「地域(山梨)と世界史とのつながり」というテーマに沿った資料が少ない。
- ・生徒の資料を読み解く力を向上させていく必要がある。

## 公民

- 甲府南高校(現代社会)
- 富士河口湖高校(学校設定科目)

### 甲府南高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年:「現代社会」2学年
- 単元名: 平和主義と日本の安全
- 学習目標:
  - ・日本の安全保障政策と日本国憲法の平和主義との関係を理解する。
  - ・憲法第9条の改定問題について、現状を知り自分の問題と考えることができる。
- 授業内容:(実施時数8時間)  
現在、議論されている憲法第9条の改訂について、資料を踏まえながら、班に分かれて話し合う。さらに、話し合ったことを発表する。

#### 成果・効果

- ・議論や発表を通して、憲法の改定問題を自分たちに関わる問題であると認識できた。
- ・生徒は新聞や本から、意見の根拠を探していくことの大切さを理解したようだった。



#### 課題

- ・本や新聞を使う時間をもっととりたかった。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 富士河口湖高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：公民「国際異文化理解」3学年
- 単元名：異文化体験旅行研究
- 学習目標：
  - ・海外での異文化体験を盛り込んだ旅行計画を作成し、国際交流を自ら実践する素地を培う。
  - ・実際に実践可能なプランを作成する。
- 授業内容：

5泊6日の日程に基づいてレイアウトされたプリントを条件に従って仕上げる。図書館資料及び授業者私蔵の資料を使い、滞在ホテル・見学場所・食事・買い物、そして異文化体験の項目をイラストを入れて作成する。作品は校内に掲示する。

### 成果・効果

- ・生徒の現状から今の自分に海外でどのような体験ができるのかを具体的に知ることができる。
- ・その体験がその後の自分の生活にどのように関わり、どのような効果が期待されるかを考えることができる。
- ・図書館はテーブルが広く、様々な資料を活用するのに適している。



### 課題

- ・プレゼンの時間を確保することが難しい。
- ・少なからず現実離れたプランがある。

# 数学

## ➤ 甲府南高校(学校設定科目)

## 甲府南高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年:数学「SS数学Ⅱ」3学年
- 単元名:数学ⅠⅡAB 問題演習
- 学習目標:
  - ・自分の考えや解答を論理的に他者に伝えることができる。
  - ・解答内容について積極的な議論ができる。
  - ・他者の発表から、多様なアプローチや考え方を知る。
- 授業内容:(実施時数25時間)
  - ・(前期)事前に指示された問題を解き、輪番で発表する。
  - ・(後期)授業内で問題を解き、全員で互いの解法を共有しながら、解答について議論する。

### 成果・効果

- ・図書館の机が大きいので、生徒同士が向き合う授業形態になりやすく、活発に議論できた。
- ・議論を通して「解答に至るには、試行錯誤や方針を変更することがよくあることだ」と理解できた生徒が多く、積極的に解答を作ることができるようになった。
- ・初見で解法の見当がつかなくても、試行錯誤して問題の規則、本質をつかみ解答に結びつけることが増えた。
- ・当初は一通りの解法にこだわる姿勢が見られたが、様々な考え方を知り、別解を求める姿勢が生まれてきた。



### 課題

- ・生徒が指導者側に顔を向けているとは限らないため、生徒数が多いと生徒の表情や反応を把握しにくい。
- ・議論を授業時間で収めるためには、教師のコントロールが必要である。

## 保健体育

- 甲府第一高校(保健)
- 山梨高校(保健)
- 塩山高校(保健)

### 甲府第一高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年：保健体育「保健」1学年
- 単元名：現代社会と健康
- 学習目標：
  - ・授業を通して知った情報を詳しく調べ考えることにより、単元の知識・理解を深める。
  - ・生徒同士で意見を出し合うことにより、新たな課題を発見する力や話す力を養う。
  - ・図書館で授業を行うことにより、調べる力を養う。
- 授業内容：

自分の知識を深めたいキーワードを蔵書から探し、まとめる。それをもとに生徒同士で意見を出し合い、新たな課題を発見する。

#### 成果・効果

- ・集団講義の授業に比べて、生徒個人の興味関心に基づいて学習をすることができるため、**知識を深めやすい**。
- ・図書館の広い空間の中で授業を行うことで、**生徒同士の話し合いが活発になった**。
- ・司書のレファレンスサービスや蔵書検索システムを利用することで情報収集の時間を短縮することができ、**まとめや発表の時間を増やすことができた**。



#### 課題

- ・新たな課題をみつける所までたどり着くことができなかった。
- ・発表の内容や新たな課題を生徒同士で評価した方が、聞き手としての評価をよりつけやすくなる。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 山梨高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：保健体育「保健」2学年
- 単元名：生涯を通じる健康
- 学習目標：
  - ・1学期に学習した中から各自が興味や疑問を持ったことを調べるにより、学んだことの不足部分を補い更に発展することが出来る。
  - ・班でまとめることで協調性や役割分担を学び、発表することで更に疑問を持ったり発言を積極的に行わせる。
- 授業内容：
  - ・1学期に学習した中から各自が興味や疑問を持ったことを調べる。
  - ・調べた内容ごとに、班でまとめて発表する。

### 成果・効果

- ・調べたいことについての本が多数有り、本で補えないときはPCを利用できる。
- ・教室の机では作業しにくいですが、**図書館の机は大きくいろいろな本を広げて作業できる。**
- ・**班での話し合いも行いやすい。**
- ・生徒達は意欲的に授業に臨んでいた。

### 課題

- ・1単位のため、時間配分が難しく、2学期の授業時数が足りなくなったクラスもあったので、工夫をする必要がある。
- ・調べる範囲が広すぎたので、絞って行いたい。

## 塩山高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：保健体育「保健」2学年
- 単元名：体育理論
- 学習目標：
  - ・体の力のバランスと、体カトレーニングについて理解する。
- 授業内容：〈本時の内容〉  
体育理論についてのワークシートを完成させる。



### 成果・効果

- ・授業の折々で、グループで考える事が自然にできた。
- ・教科書の内容を説明するときに、**その箇所に関する図鑑などの書籍を生徒に見せることで、理解を深めることができた。**



### 課題

- ・授業内容を最初に司書の先生に伝えておけば、さらに効率よく、必要な資料を使うことができる。

# 芸術

- 甲府第一高校(音楽Ⅰ)
- 白根高校(美術Ⅱ)
- 中央高校(書道Ⅰ)

## 甲府第一高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年:芸術「音楽Ⅰ」1学年
- 単元名:名曲プレゼンテーション
- 学習目標:学習指導要領 B鑑賞  
「ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞すること」を目標とする
- 授業内容:5時間構成  
1次 音楽室で音楽史の概要を学び、時代区分を選択する  
2次 図書館に移動し、選択した時代区分ごとの班(3~5人)に分かれ、役割分担(人物、歴史、楽曲等について)ごとに調べ学習を行い、発表原稿をまとめる。  
3次 図書館で発表原稿と合わせ、個人でB6サイズの配付用資料を作成し、班ごとにまとめて提出する(これを統合し班ごとにB4のプリントが作られる)。  
プレゼンテーションの練習も行う。  
4次、5次 音楽室で発表 (バロック時代から近代、現代まで)

### 成果・効果

- ・自ら調べることにより責任が生まれ、また伝記や研究書等に触れることでひとつの作品にどれだけの意味がこめられているかがわかる。
- ・情報量が一度に可視化され、かつ題名を同時に見ることは図書館でのみ可能な情報検索の方法であるため、生徒はさらなる興味を得るきっかけになる。



### 課題

- ・他の教科と使用時間を調整しなくてはならないこと。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 白根高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年:教科「美術Ⅱ」2学年
- 単元名:「ブックカバーをリニューアル」
- 学習目標:
  - ・ブックカバーの役割と機能について考える。
  - ・ブックカバーの目的や用途と、造形的な美しさとの調和を考えてデザインする。
- 授業内容:

太宰治の「人間失格」のブックカバーが、若者に人気の漫画家のイラストにリニューアルされた目的を考えさせながら、その役割について学ぶ。本の内容、その本を勧めたい人(ターゲット)などを考慮して、文庫本のブックカバーを制作する。制作後は、実際の本と自分がデザインした本を比較しながら展示を行う。

### 成果・効果

- ・初版本の復刻版と、**現在の本を実際に手にとって比較することができ、時代やニーズによって変化する装丁デザインを実感することができた。**多くの本を手に取り、様々なデザインがあることを考えさせることができた。



### 課題

- ・本の内容のイメージを、どのようなデザインで伝えようと効果的なのか、深く考えさせることが難しい。手に取った人の心情なども考えさせながら、色や形を工夫させたい。

## 中央高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年:芸術「書道Ⅰ」
- 単元名:効果的に表現しよう
- 学習目標:スタンドグラス作り
- 授業内容:
  - ①図書室にて使用する詩、言葉をさがす。自分なりに言葉を解釈し、表現する。
  - ②毛筆にて詩、言葉を描く。描いた文字を切り抜き、パラフィン紙で色付けをする。
  - ③図書室で展示した。

### 成果・効果



- ・詩・言葉をさがすために図書館で本に沢山触れることができた。スマホ、パソコンではなく、**書籍で言葉を探ることが自然となった。**
- ・効果的な表現をめざし、文字の大小、配置、色を工夫した。

### 課題

- ・言葉を探す時など、普段から様々な図書を通じて芸術作品に触れることが大切であると痛感した。授業の時などにさらに図書館にて作品に触れる時間を設けたい。
- ・図書室にスキャナー、プリンター等の設備があると、さらに充実した活用につながる。

## 外国語

- 甲府工業高校(コミュ英Ⅰ)
- 峡南高校(コミュ英Ⅰ)
- 富士北稜高校(コミュ英Ⅰ)
- 甲府城西高校(学校設定科目)

### 甲府工業高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年：外国語「コミュニケーション英語Ⅰ」1学年
- 単元名：“The World of Colors”
- 学習目標：
  - ・自分が大切にしているものを見せて仲間に伝える。
  - ・発音・音量・ジェスチャー・アイコンタクト等に留意する。
  - ・発表内容をとらえるとともに、質問をする。
- 授業内容：

学んだ関係代名詞を使って作文をし、“Show and Tell”として発表することで、文法を活用するとともに、相手に伝える技術を学ぶ。併せて、聞き手としての聴く態度および質問により対話をする姿勢を身につける。

#### 成果・効果

- ・聞き手を意識した英文作りと発表の姿勢を学べた。
- ・学習事項のいっそうの理解とともに、**生徒の仲間としての相互理解**に役立った。
- ・図書館の大机を介して輪になって活動することで**発表と質問がしやすい雰囲気**が作れた。



#### 課題

- ・図書館という広い空間で発表を行うため、クラスの生徒全員に伝えるように発表する工夫や授業者としての配慮が必要である。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 峡南高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：外国語「コミュニケーション英語Ⅰ」1学年
  - 単元名：Lesson 6 Toothbrush in Edo
  - 学習目標：①テーマに沿って複数の資料を読み、必要な情報を収集することができる。
  - ②収集した情報に自分の印象や感想を加えて内容をまとめることができる。
  - ③まとめたものを人前で、相手に伝わるように発表することができる。
- 授業内容：  
教科書本文の学習を始める前、江戸時代に関する基本情報を収集させる目的で「江戸時代について調べよう」という調べ学習を行った。江戸時代は西暦何年から何年まで続いたか、初代将軍は誰であったか、大名の所領を何と言ったか、山梨や静岡などを旧名で何と呼んだか、食べ物や文化はどうであったか、他。特に浮世絵については作品名・作者名・製作年など、詳しく調べるようにした。

### 成果・効果

・教科書に載っていることに関連して図書館で調べ学習を行い、その後まとめたものを英語に直したり、発表したりすることで学習の幅が広がり、また、授業に深みを与えることができた。

### 課題

・調べ学習に際し、生徒間で調べ方の得手不得手や早さの差があり、決められた時間内で作業が終わる生徒と終わらない生徒との進度を合わせていくために、キャッチ・アップしないといけない生徒に対するフォローをどうやってしていくか、検討が必要である。



## 富士北稜高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：外国語「コミュニケーション英語Ⅰ」1学年
- 単元名：Treasure hunt (ALTとのチームティーチング)
- 学習目標：
  - ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すると共に、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
- 授業内容：
  - ・グループ(4人)ごと、英語で書かれた、また、話されたヒントから、隠された「宝物(一冊の本)」を探す。図書館という様々な要素を持つ空間を用い、ゲーム的な楽しさの中で、「読む」「聞く」ことに基づき情報を理解する力を養う。また、仲間と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

### 成果・効果

- ・大机を利用してグループごと作戦会議を行うことで、協働意識が生まれ、その後の活動にスムーズに移行することができた。
- ・図書館内には、複数の棚、机や椅子、展示物、分類された書籍等、様々な要素があり、多彩な英語の指示が可能であった。
- ・広い空間であるため、複数のグループの「読む」「聞く」それぞれの活動が同時に行え、活動範囲も大きい。



### 課題

- ・個々の資質・能力に対する評価が難しい。
- ・広い空間であるが故に、指示を明確に理解させるには工夫が必要である。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 甲府城西高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」：外国語「英語活用」3学年
- 単元名：ドラマ教材を使った英語での表現  
Create your own ORIGINAL script Project
- 学習目標：
  - ・ドラマ仕立ての英文を学び、感情を込めて読む。
  - ・チームとして一つの英語での演劇に取り組む。
- 授業内容：
  - 1 英語ドラマのスク립トの形式を理解する。
  - 2 既成の英語でのドラマを学ぶ。
  - 3 自分たちで独自の英語劇を創作し、上演する。



### 〈図書館にて行った活動〉

#### 英語でのドラマのシーンを探す

小説のワンシーン、映画の台本、英字新聞、図書館内のPCを利用した検索などを3時間に渡って行った。



### 成果・効果

- ・あらかじめ司書の先生に授業内容と必要とされる教材を伝えて、当日サポートとして各チームの探す書籍を指導してもらった。
- ・普段生徒が、あまり自分では選択しない**英語の本や英語に関する書籍の多様さと量に生徒が驚くことは授業の中での大きな達成**であった。

### 課題

- ・小人数ゆえに独自の教材を発展させて図書館で指導することができたが、大人数では資料も限られてしまう。効率的にいろいろな指導が可能となる体制が望ましい。

# 家庭

- 韮崎工業高校(家庭基礎)
- 甲府西高校(家庭基礎)
- 甲府東高校(子どもの発達と保育)
- 笛吹高校(子どもの発達と保育)
- 北杜高校(学校設定科目)

## 韮崎工業高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：家庭科「家庭基礎」1学年
- 単元名：保育体験実習
- 学習目標：幼稚園児と直接触れ合う体験を通して幼児の生活を知り、子どもをいとおしく思う気持ちや年少者をいたわる気持ちを養うとともに、生命の尊さを理解させる機会を与え、将来親となるための自覚を促す。
- 授業内容：クラスごとに計画した遊び(ペアになってのゲーム遊び)や、おやつタイムでの名札交換、生徒による紙芝居の発表、本の読み聞かせによる交流を行う。



### 成果・効果



- ・図書館でのふれあい活動を通じ、**子どもの目線に合った生徒の主体的な関わり**が随所にみられた。
- ・幼児との関わりを通して、多感な思春期に、自分自身を振り返ったり見つめ直したりする良い機会となった。

### 課題

- ・2歳児も加わるため、子どもの発達に合わせた遊びについて、関わり方の改善を図る必要がある。
- ・事前学習の時間確保や生徒の事後感想文の表現の工夫が望まれる。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 甲府西高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：家庭科「家庭基礎」1学年
- 単元名：食生活をつくる

#### ➢学習目標：

・ビタミンの種類と働きについて理解し、適切に表現することができる。

#### ➢授業内容：

- ・図書館資料での調査を通して理解する学習活動
- ・他者との協働的な関係を築きながら調査内容をまとめる活動
- ・発表を評価し合い、主体的に理解を深める活動



### 成果・効果

- ・インターネットなどで簡単に必要な部分だけを調べることに慣れている生徒達が、沢山の本から調査する中で**様々なことを関連づけて調べ学習をすることができ、広い視野で情報を集めることができた。**
- ・グループ活動により調査内容をまとめることで、**対話の中に個人の食生活についての話題が飛び交い、自分の食生活を見直すきっかけとなった。**
- ・グループ毎の発表の中で、日常生活における注意点など**生徒同士だからこそ気付き合うことができ、主体的に理解しようとする姿勢が多く見受けられた。**

### 課題

- ・授業でやるからではなく、普段から学んだ内容をきっかけに図書館の本に触れ、好奇心を持って知識を身に付けようと積極的に図書館を利用させるための働きかけが必要だと感じた。

## 甲府東高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：家庭科「子どもの発達と保育」3学年
- 単元名：子どもの生活

#### ➢学習目標：

- ・乳幼児にとっての遊び(児童文化財)について体験し、共感する。
- ・乳幼児期のアタッチメントについて必要性を学ぶ。

#### ➢授業内容：

絵本の読み聞かせを交互に体験し、評価することによって乳幼児期の児童文化財の必要性や、アタッチメントの形成を知る。

### 成果・効果

- ・実際に絵本を自ら選ぶことにより、読み聞かせの体験ができる。
- ・**絵本の良さを体感できる。**



### 課題

- ・評価方法(見取り方)が難しい。
- ・絵本の種類や、選ぶ時のアドバイスについて学ぶことが必要である。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 笛吹高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：家庭科「子どもの発達と保育」2学年
- 単元名：保育園実習
- 学習目標：
  - ・園児の発達段階をふまえた企画を調べる。
  - ・グループごと候補を絞り、試作に向け必要な物を書き出し準備をする。
- 授業内容：

保育園実習で行う工作やゲームなどを調べ、候補をグループごと話し合い、次回の試作に向けての準備をさせる。

園児の発達段階を確認させるとともに、児童文化財に関する知識を、保育園実習の現場で表現できる企画力を養う。

### 成果・効果

- ・児童文化財に関する書籍がたくさんあるため、いろいろな面から候補を挙げることができた。
- ・大机のため、グループごとでの話し合いがしやすかった。
- ・さらに調べたいことが出た時、書籍やパソコンなどで**すぐに調べられる環境があり、解決がその場でできるのが良かった。**



### 課題

- ・2時間続きの授業で利用したが、グループで進み具合に差があったので、活動を項目ごと時間で区切る等の工夫の必要性を感じた。

## 北杜高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：家庭科「生活科学B」3学年
- 単元名：「和服に関する調べ学習」
- 学習目標：必要な情報を効果的に検索する方法について理解する
- 授業内容：
  - ・十進分類法を学び、図書の配架について学ぶと共に効率的な検索方法を知る。
  - ・図書館資料の種類について学び(レファレンスブック等)、様々な視点でテーマをとらえる姿勢を育てる。
  - ・和服に関するテーマについて調べ学習を行い、和服の歴史や先人の知恵を学び「ゆかた製作」の実習に学習を活かす。

### 成果・効果

- ・十進分類法やレファレンスブックについて学ぶことにより、**情報を多角的な視点で捉えること**の重要性を伝えることができた。
- ・図書館での調べ学習は与えられる学習ではなく、想像力や発想力また表現力をフル活用する**「クリエイティブ」な学習**につながり、生徒の自ら学ぶ意欲を引き出す良い機会となった。
- ・「自ら課題を見つけ学びを深める」という学習を行うことにより、**生涯学習にもつなげていくこともできると考える。**



### 課題

- ・時間数が限られるので、目標を達成するための学習内容の精選が必要である。
- ・目標が達成できているかの評価についても改善が必要である。

## 総合的な 学習の時間

- 塩山高校
- 中央高校【4事例】

### 塩山高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年:「総合的な学習の時間」1学年
- 単元名: 職業人へのインタビュー
- 学習目標:
  - ・ 職業への理解を深める
  - ・ コミュニケーション能力を育てる
- 授業内容:〈本時の内容〉  
インタビューをする職業について調べる。  
図書館にある職業に関する本のほか、各自のスマホや図書館内のパソコンの使用もOKとし、グループで話し合いながら調べたことをまとめる。



#### 成果・効果

- ・ 図書館の本とインターネットを併用し、職業について調べることができた。
- ・ **調べやすい雰囲気**の中で、協力して図書やインターネットを活用して調べ、インタビューに繋げることができた。



#### 課題

- ・ 調査の際に、出典を明記するという指導を繰り返し行ってきたい。
- ・ 学校司書と早めに相談して授業を計画することが大切である。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 中央高等学校

### 取組の内容

- > 教科「科目」学年:「総合的な学習の時間」1学年
- > 単元名:探求学習
- > 学習目標:新聞作り-体験を基に、客観的な自己表現を身につける。郷土の文化を知る。
- > 授業内容:
  - ①全校的に行われる遠足を題材にして、新聞の手法にて作文する。(自分の経験を客観的に表現する)
  - ②新聞紙面の作成。割り付け、写真等資料の選定。
  - ③校正を経て、実際の新聞紙面と同様に刷ってもらう。

### 成果・効果

- ・新聞社の担当者との作業の場所を提供した。広いテーブルと実物の新聞が常備され、辞書をはじめとて様々な資料があるのでモチベーション造りとしても最適な場所であった。
- ・郷土資料、地図などの活用もできた。
- ・新聞の利点や新聞を読む必要性などについて考えさせることができた。



### 課題

- ・新聞を読む習慣が薄れていると実感した。普段から新聞の存在をアピールする努力が必要である。
- ・郷土についての資料は相互貸借だけでなく、県の関係機関などから発行されているリーフレットなど資料を幅広くそろえる必要がある。
- ・図書室にスキャナー、プリンター等の設備があると、さらに充実した活用につながる。

## 中央高等学校

### 取組の内容

- > 教科「科目」学年:「総合的な学習の時間」3・4学年
- > 単元名:探求学習
- > 学習目標:絵本に親しみ、情操を豊かにする。また、他者に紹介する。
- > 授業内容:
  - ・図書館にある絵本を一人20冊ほどじっくり読み、読んだもの全てに感想を書く。お勧めのランキングを決め、他者に薦める。方法としては図書館通信の号外の発行。発表会。



### 成果・効果

- ・絵本を図書室という場所で静かにじっくり読むことで心が和み、心を豊かにする。
- ・図書館通信を作ることで、人に伝える文章を書く練習となった。また、他者に見てもらおうためのデザイン等良い経験となった。
- ・発表会では他者に分かってもらうための発表を心がけた。

### 課題

- ・個人的には読んで、心和む良い時間となっているが、他者の心をつかむ発表がなかなか難しく、発表の仕方を工夫する必要がある。ただ文章を読むだけでは伝わらないことを生徒に気づかせたい。
- ・通信号外を生徒の独自の感性で作成することを期待したい。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 中央高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：「総合的な学習の時間」1・2学年
- 単元名：絵本の読み聞かせ
- 学習目標：名作を味わう
- 授業内容：

15人程度の少人数でベテランの講師による読み聞かせを聞き、絵本の魅力について考える。



### 成果・効果

- ・絵本の対象は必ずしも小さな子供だけではないということが、客観的に読みかさを聞くことでわかり、認識が変わった。
- ・少ない文字と絵により想像力を膨らませることができることを実感した。
- ・肉声による味わい深い読み聞かせに、絵本に興味がある生徒が増えた。これから親世代となるであろう生徒に、読み聞かせの存在を知らせることができた。

### 課題

- ・絵本を高校生の読み物でないと認識している大人に良さを分かってもらうために、図書室での様々な働きかけをしたい。
- ・生徒が自ら読み聞かせをできるような機会が必要である。

## 中央高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：総合的な学習の時間
- 単元名：探求学習
- 学習目標：自分で課題を決め、探求してゆく。
- 授業内容：
  - ①・色々な犬の特徴・山梨の宝石について・星座について・宇宙について・甲斐犬について・印伝について・郷土料理・クニマスについて・富士急ハイランドの歴史等様々な課題を図書を中心としてPCなども利用して調べる。
  - ②個人・班などで課題について探求内容をまとめ、発表する。発表の方法はパワーポイントまたは、模造紙などにて掲示する。

### 成果・効果

- ・自分の知らないことを探究課題として設定し、書籍やパソコンによる調べ学習を通して、参照の仕方を学び、課題に対する研究を深めることができた。
- ・郷土資料が必要となる探究課題が多く、自校の資料では足りなかったため、学校間の相互貸借システムが有効であった。
- ・課題を研究する為には図書館の活用が必須であることが、改めて生徒が実感し、次回の学習に役立つと確信している。

### 課題

- ・様々な図書、資料を用意するのがこの学習の成果を決めると思われる。郷土についての資料は相互貸借だけでなく、県の関係機関より発行されているリーフレットなど資料を幅広くそろえる必要がある。
- ・図書室にスキャナー、プリンター等の設備があると、さらに充実した活用につながる。

## その他

- 甲府工業高校(科学写真の展示)
- 巨摩高校(ペン習字)
- 中央高校  
(国語(現代文B)と芸術科(書道)の協働授業)
- 中央高校  
(芸術科(書道)と情報の協働授業)

### 甲府工業高等学校

#### 取組の内容

- 教科「科目」学年:理科「科学と人間生活」1学年
- 単元名:課題研究(科学写真)
- 学習目標:
  - ・動植物の生態その他の自然現象について興味や関心を高める
  - ・物事を科学的に注意深く観察する態度を身につける
- 授業内容:

生態や自然現象の写真を、科学の視点から見る練習を行う。  
夏期休業中に「科学写真」の撮影を課題とし、説明文と共に提出。  
クラスで各作品を発表し、校内での展示を行う(図書館)。また、  
科学写真展(県立科学館主催)に出展する。

#### 成果・効果

- ・動植物の生態や自然現象のほかに、自分で実験した結果を撮影したものや、授業で扱わない内容を題材とした作品も多かった。**生徒の興味関心を高めることができた。**
- ・クラス発表や優秀作品の展示は、**自分にはない視点を知るよいきっかけになる。**



#### 課題

- ・「科学写真」とは言いえない作品や、説明文が間違っている作品がいくつかある。全員にきちんと趣旨を理解させる必要がある。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 巨摩高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：学校設定教科「教養」  
科目名「ペン習字」3学年（年間を通して図書館で授業を実施）
- 単元名：自由書写
- 学習目標：基本を踏まえた上で、書きたい文章を、自由に創作することで、書くことの意味を考える。
- 授業内容：
  - 1 ペン習字の基本の学習と習得。（10時間）
  - 2 手本を見ながらの臨書。理論と実践。（10時間）  
楷書体、草書体、バランス、配置など
  - 3 書くことの意味を考えるための名文臨書（7時間）
  - 4 自由書写・創作 ※図書資料の活用（5時間）  
図書館蔵書から好きな文章を見つけて、自由に創作。
  - 5 相互批評により自分と異なる発想、手法を知る。（2時間）  
⇒書き直し

### 成果・効果

- ・毎時間蔵書に囲まれての授業であり、書きたい書体や書に関する情報を授業テキスト以外からも得ることができた。
- ・習い事的な単純作業でなく、書くことの意味などを考えるための時間を取り入れた授業展開が可能であった。

・いわゆる書道に比べると、基本理論も発展的な内容を論じた文献も少ない中で、比較的広い文献に当たることができた。



### 課題

・文章を自由に選ぶ際の基準を緩くし、書くことへの主体的な関わりを深くしようと考えたが、テキストの選び出しに混乱があった。授業を展開する中で、ゴールをより強く示しておくことで、図書資料のさらに広範囲な活用にもつながった。

## 中央高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：現代文B×書道
- 単元名：効果的に表現しよう
- 学習目標：優れた表現に接して、自分の表現に役立てる。
- 授業内容：
  - ① 俵万智「殺し文句は永遠に一恋する伊勢物語」を読み、著者の言う「殺し文句」の定義（＝人をひきつける言葉）を理解する。
  - ② 本文で著者が『伊勢物語』の「殺し文句」に注目しながら作品の魅力を語っている手法を模倣し、自分で選んだ絵本の表現から「殺し文句」、「30字紹介コメント（＝自分で書いた殺し文句）」などをワークシートにまとめる。
  - ③ 絵本の表現と自分の表現が形の面からも伝わるような文字の書き方を書道の先生に指導していただきながら、絵本の帯を作る。作った帯は実際に絵本につけ、図書室で展示した。



### 成果・効果

- ・絵本という教材を選択したことで、受講者全員が作品全体を読み理解したうえで「効果的な表現」を探し出し、また「効果的な表現」で自分の考えを発表することができた。
- ・図書館の設備や本を学習に活用する体験、自身の成果が図書館に展示される体験を通して、図書館に赴く機会も増え、本や読書に触れる機会が増加した。
- ・芸術科と連携して指導したことで、国語科の授業として幅が広がり、受講者の中の書道選択者の作品制作に向かう姿勢も向上した。H29家読poP展に出品。

### 課題

・昨年度、今年度と同様の授業を行っており、芸術科や図書館との連携として定番化できているが、授業担当者の異なる同一科目でも実施したい。

# 平成29年度 学校図書館を活用した授業実践事例

## 中央高等学校

### 取組の内容

- 教科「科目」学年：書道×情報
- 単元名：漢字仮名まじり書
- 学習目標：書道の学習を身近な物(1年物カレンダー)に使用し、親しむ。
- 授業内容：
  - ①図書室にて使用する詩、言葉をさがす。
  - ②毛筆にて詩、言葉を描く。
  - ③できあがった書道作品を家庭科(情報)の授業にてスキャナーし、カレンダーの用紙に取り込む。図書室で展示した。

### 成果・効果

- ・本の中の心に残るワンフレーズを書きで表現し、カレンダーという実用的な物を作成する。
- ・詩・言葉をさがすために**本に沢山触れることができた**。スマホ、パソコンではなく、図書を使うことが自然となった。



### 課題

- ・言葉を探す時など、普段から様々な図書を芸術作品に触れることが大切であると痛感した。授業の時などにさらに図書館にて作品に触れる時間を設けたい。
- ・図書室にスキャナー、プリンター等の設備があると、さらに充実した活用につながる。